

令和2年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

修士課程 社会学専攻 A 一般（長期履修含む）

受験 番号		氏 名		科 目	英 語	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

【辞書使用可、電子辞書も可】

次の英文を日本語に訳しなさい。

Schooling is a formal process: there is a definite curriculum of subjects studied. Yet schools are agencies of socialization in more subtle respects too. Alongside the formal curriculum there is what some sociologists have called a *hidden curriculum* conditioning children's learning. Children are expected to learn to be quiet in class, punctual at lessons and observe rules of school discipline. They are called on to accept and respond to the authority of the teaching staff. Reactions of teachers also affect the expectations children have of themselves. These, in turn, become linked to their job experience when they leave school. Peer groups are often formed at school, and the system of keeping children in classes related to age reinforces their impact.

Schools are supposedly a means whereby children can escape from the restricting aspects of the social backgrounds from which they come. Since education is not only open to but demanded of all, children from poor or underprivileged circumstances have the chance to move up the social and economic ladder if they are successful at school. Mass education in modern society is linked to ideals of equality of opportunity – people reach positions for which their talents and capacities suit them.

令和2年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

修士課程 社会学専攻

A 留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

問1. 次の4つから1つ選択し、説明しなさい。なお、選択した番号を○印で囲ってください。

- ①普遍的合理化過程 ②ハイ・モダニティー ③液状不安 ④母集団

問2. 方法論的個人主義と方法論的集団主義は、それぞれどのような社会学的立場であるかを説明しなさい。

問3. 大学院での研究について①から③を踏まえて説明してください。

- ①研究対象とテーマ
②自身の研究の独創性と先行研究との関わり
③それを本学大学院で研究する意義

令和2年度大学院入学試験問題 (所要時間60分)

修士課程 社会学専攻

A 留学生

受験 番号		氏 名		科 目	日本語論述	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-------	--------	--

【問題】 次の文章を読んで、解答用紙にある設問に答えなさい。

平成が終わり令和が始まった。2019年の4月30日から5月1日にかけて、「歴史の変わり目」にいるような、非日常の感覚を経験した人は多いのではないだろうか。そして、こうした感覚の形成に、メディアが大きく寄与したことは言うまでもない。

振り返ればこの一年ほどの間、さまざまなメディアで多岐にわたるテーマについて平成時代が回顧された。まさしく、平成の30年という時間を切り取り、そこに特徴を付与し、物語化しようという営みであった。

新聞では、例えば朝日新聞は「平成とは」という連載を1年以上続けた。テレビでも、NHKが「平成史スクープドキュメント」を8回にわたり放送した。そうした企画を通じて私たちは「失われた20年」や「55年体制後の日本政治」、あるいは「インターネットの発展」を“物語”として受けとめ、その物語が意味するものについて、改めて考える機会を得たのである。



ニュース研究で強調されるように、ニュースは単に「現在」を伝えるだけのものではない。(a)「過去の検証」もまたニュースであり、ジャーナリズムの重要な活動の一つである。とくに人々が気づいてこなかった、あるいは目を向けようとしてこなかった出来事を提示する場合、それは私たちに歴史の反省的な(1) 回顧を要請することになる。

障害のある人々に不妊手術を強制した旧優生保護法を巡り、18年を中心に展開された毎日新聞のキャンペーン報道はその優れた事例である。戦後の日本で続いてきた人権侵害の実態を掘り起こした一連の報道の批判の射程は、立法化に関わった政治家、強制不妊に携わった医師のみならず、こうした国策を受け入れてきた社会全体に及ぶ。それゆえ、この検証報道は私たちに自らの人権意識を問い直すことを促す。

過去の批判的検証はまた、「文書」や「データ」がなぜ、適切に保存されなければならないのかを説得的に主張する根拠にもなる。毎日新聞は首相の面談記録が1年未満で(2) ハイキされている実態を報じた(19年4月14日)。こうした実態への批判は、毎日新聞が過去の検証を適切に行っているということで正当化されるのである。

とはいえ、過去を検証し、適切に批判することは、ジャーナリズムにとっても一定の困難を伴う営みである。

第一に、「現在」を伝えるニュースが出来事の「選択」と「編集」であるのと同じく、過去の検証報道もまた出来事の「選択」と「編集」である。戦争などの悲劇の「語り継ぎ」をめぐってしばしば指摘されるのは、そうした「語り」がパターン化されてしまう点である。語りのパターン化によって特定の出来事が“特権化”される一方で、別の出来事が語られず、ときに(3) 忘却されてしまう。

本来、過去の検証報道は語られなかった出来事を発掘する作業であるが、すべてを発掘することはできない。むしろ別の出来事の(4) ハイジョのうえに成り立つ作業だとも言える。つまり、過去の検証もまた、こうした限界を持つことを意識しなければならない。

第二に、過去の批判的検証はジャーナリズム自身にも向けられる。例えば旧優生保護法をめぐってメディアはこれまで何を報じ、何を報じてこなかったのかを問われるのである。

受験番号	氏名	科目	日本語論述	評点
------	----	----	-------	----

言い方を換えると、検証報道はジャーナリズムの自己反省の機会でもある。

朝日新聞は、「新聞と戦争」や「原発とメディア」といった連載で、かつて満州事変を正当化した、あるいは戦後原発を推進してきた自社の報道を批判的に検証した。こうした文化が日本のジャーナリズムでそれほど共有されていないのは残念である。

◇

メディア環境が大きく変化し、ジャーナリズムの意義をあらためて示すことが求められている。こうした状況だからこそ、過去を検証する報道の重要性は広く意識されるべきだと考える。なぜなら、過去の検証はジャーナリズムが持つ (b) 「OO」の力を示すものだからである。それは今まで私たちが知らなかったこと、知らないふりをしてきたことを突きつけ、自らを反省する機会を提供する。同時にメディア自身の厳しい自己検証の機会でもある。

自社の過去の報道を批判的に検証することには戸惑いもあるかもしれない。だが、ニュース研究が再三指摘してきたように、ジャーナリズムの (5) 無謬性は“神話”に過ぎない。むしろ過去の報道で欠けていた視点やその要因を検証し、世に問うことは、社会やメディアの一部で依然として信じられているそうした神話を (6) カイタイすることにつながる。ジャーナリズムの新たな可能性とは、まさにそこから始まるのではないだろうか。

(山腰修三=注、朝日新聞2019年5月10日朝刊「メディア私評」から)

(注) 1978年生まれ。慶應義塾大学准教授(ジャーナリズム論、政治社会学)。主著に「コミュニケーションの政治社会学」。

【すべて日本語で解答しなさい】

問1. 下線部(1)から(6)まで、漢字の場合は読みを、カタカナ表記の場合は漢字で書きなさい。

(1) 回顧 () (2) ハイキ ()

(3) 忘却 () (4) ハイジョ ()

(5) 無謬 () (6) カイタイ ()

(次ページに続く)

令和2年度大学院入学試験問題 (所要時間60分)

修士課程 社会学専攻

A 留学生

受験番号		氏名		科目	日本語論述	評点	
------	--	----	--	----	-------	----	--

問2. 『過去の検証』もまたニュースであり、ジャーナリズムの重要な活動の一つである(下線部 a) とあるが、筆者はどのような報道をいつているのか、具体的に述べなさい。

問3. 下線部 (b) のなかに入る言葉を漢字2字で答えなさい。

()

問4. 筆者はジャーナリズムに何を求めているのか、その理由も含めて具体的に説明しなさい。

令和2年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

修士課程 社会学専攻 C 一般（長期履修含む）

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	--------	--------	--

問1. 次の4つから1つを選択し説明してください。なお選択した番号を○印で囲ってください。

1. アノミー 2. 構造化 3. グランドセオリー 4. リフレクシヴィティ

問2. あなたがこれまでに読んだ社会学専門図書（論文）で、最も影響を受けた図書（論文）のタイトルと著者名を記し、その図書（論文）の何にどう影響を受けたかを詳述してください。

問3. 大学院での研究計画について、以下の点を踏まえて述べてください。

- ①研究テーマ ②研究動機 ③これまでの研究関心（卒業論文）との連続性

令和2年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

修士課程 社会学専攻

C 留学生

受験 番号		氏 名		科 目	日本語論述	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-------	--------	--

【問題】 次の文章を読んで、解答用紙にある設問に答えなさい。

社会学は社会を扱う学問である。何も知らない人でも、それくらいは想像できるだろう。しかし、社会をどう考え、どう研究していくかという問題は、社会学の成立当初からずっと議論されてきた。それには大きく分けると二つの立場があり、それぞれ「方法論的個人主義」と「方法論的集団主義」と呼ばれている。

方法論的個人主義は、個人を起点に社会を考えていこうとする。雑駁(ざっぱく)*にいえば、個人の意思決定の(1)集積が社会を形成する、という考え方で、極端なものには、社会は存在せず、存在するのはただ個人の集合だけだ、とするものもある。個々人の行為に注目し、その動機を理解することで、制度や組織の成立過程を究明するのがこの立場だ。有名なのは(A)の理解社会学である。(A)は、社会的事象を説明するには、外面的な因果関係を捉えるだけでは不十分で、行為者にとっての意味や動機が問われなければならないと考えた。(A)は、主観的な意味が伴う行為のうち、他者の存在との関わりでなされる行為を社会的行為と呼んで、これを社会学の研究対象とした。たとえば、誰にも見せない日記とは違い、同じ日記でも、公開のブログなどは社会的行為にあたる。

これに対して方法論的集団主義は、個人を超えた社会が実在していることを前提に、社会を考えていこうとする。方法論的個人主義とは反対に、一つの(2)ユウキタイとしての社会が個々人の行為や考え方に作用すると考えるわけである。この立場の代表としては(B)が挙げられる。(B)は個人の外にあって個人を拘束する、集団に共有された行動・思考様式を社会的事実と呼んで、これを研究するのが社会学であるとした。

極端な社会唯名論を除けば、社会学は基本的に、社会は個々人の集まり以上のものだという考えを前提にしている。というのも単なる個々人の集まりであれば、一人ひとりを心理学的に研究すればそれでよいことになるからだ。社会的事実注目する(B)は、それゆえ心理学的社会学の立場をとった(C)と(3)多岐にわたる論争を繰り広げた。しかし唯名論の立場をとる(C)も、メディアによって結びつき討議を行う(4)コウシュウを論じるなど、個人を圧倒する集団の力を否定したわけではなかった。つまるところ、彼らの論争の焦点は個人の集まり以上である社会を考えるにあたって、その起点を個人に置くのか、それとも個人に影響を与える社会それ自体に置くのか、ということであったのである。

社会学は、方法論的個人主義と方法論的集団主義の二つの立場を(5)融合させる理論を模索しながら、発展しているということができよう。

*雑駁：雑然としていて統一がないこと。(『デジタル大辞泉』より)

(現代位相研究所、2010、『フシギなくらい見えてくる!本当にわかる社会学』日本実業出版社)

令和2年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

修士課程 社会学専攻

C 留学生

受験 番号		氏 名		科 目	日本語論述（解答用紙）	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-------------	--------	--

【すべて日本語で解答しなさい。】

問1. 下線部(1)から(5)まで、漢字の場合は読みをひらがなで、カタカナ表記の場合は漢字で書きなさい。

(1)集積 () (2)ユウキタイ ()

(3)多岐 () (4)コウシュウ ()

(5)融合 ()

問2. (A) (B) (C) の中には、それぞれ違う人名が入る。それぞれの人名が入るか下記から選び書きなさい。

人名：ガブリエル・タルド、カール・マルクス、マックス・ヴェーバー、
ゲオルク・ジンメル、エミール・デュルケム

(A) (_____)

(B) (_____)

(C) (_____)

問3. 上記の文章にある「社会的行為」「社会的事実」「個人」「社会」の言葉を使い、「社会学とは何か」をまとめなさい。

令和2年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

修士課程 社会学専攻 C 社会人（長期履修含む）

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	--------	--------	--

問1. 次の4つから1つを選択し説明してください。なお、選択した番号を○印で囲ってください。

- ①アノミー ②マクドナルド化 ③印象操作 ④ラディカル社会学

問2. あなたがこれまでに読んだ社会学専門図書（論文）で、最も影響を受けた図書（論文）のタイトルと著者名を記し、その図書（論文）の何にどう影響を受けたかを詳述してください。

問3. 大学院での研究計画について、以下の点を踏まえて述べてください。

- ①研究テーマ ②研究動機 ③これまでの研究関心（卒業論文）との連続性